

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~5日	6月 ~12日	6月 ~19日	6月 ~26日	7月 ~3日	7月 ~10日	7月 ~17日	7月 ~24日	7月 ~31日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	14	12	38	35	36	30	21	7	5
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	24	24	27	15	4	9	5	7	5
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4	2	3
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	2	0	1	0	3	2	1	4	6
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	4	2	8	8	5	7	4	3	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	3	2	2	1	3	6	4	0 (1)	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	1	1	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	2
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* 今週のその他の1件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第30週(7月25日~7月31日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3	1				2		
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症	6	3				2	1	
四類	6	A型肝炎	1				1			
		日本紅斑熱	1	1						
		レジオネラ症	4					3	1	
五類	21	アメーバ赤痢	1						1	
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	17					15	1	1
新型インフルエンザ 等感染症	20,713	新型コロナウイルス感染症	20,713	2,398	1,319	1,438	501	10,121	1,559	3,377

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第30週に10,121件の報告がありました。これまでで最も高い感染レベルを更新し続けています。

これ以上の感染拡大を防止するため、一人一人が、密の回避、状況に応じたマスクの着用、定期的な換気、手洗い・消毒などの基本的な対策を徹底することが大切です。

2 RSウイルス感染症

定点当たり6.26人の報告があり、多い状況が続いています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。

3 手足口病

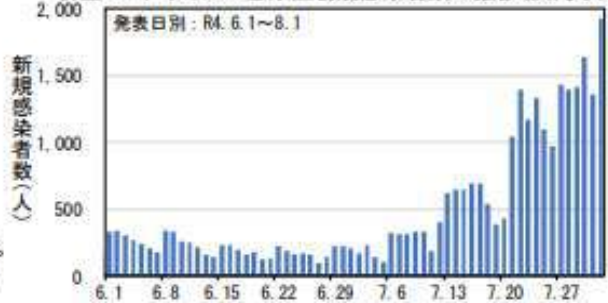
定点当たり4.39人の報告があり、多い状況が続いています。

4 腸管出血性大腸菌感染症

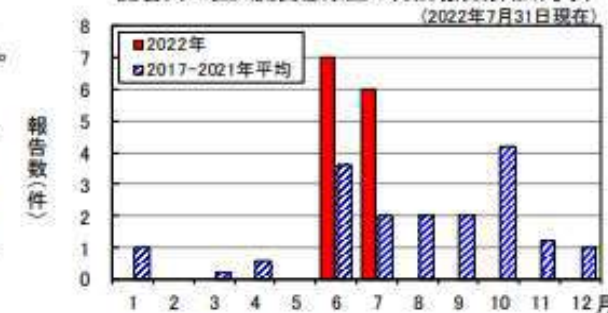
2件の報告があり、今年の累計は13件になりました。6月、7月と多い状況が続いています。

感染予防のため、肉類は十分に加熱し、生で食べる野菜や調理器具はよく洗いましょう。また、調理や食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.05		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.08	
	明頭結膜熱	7	0.30	0.28			RSウイルス感染症	144	6.26	1.92	⇒
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.39	1.33		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	69	3.00	2.99	◁		流行性角結膜炎	2	0.25	0.70	
	水痘	4	0.17	0.22		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	101	4.39	3.97	◁		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.10			マイコプラズマ肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.06	
	突発性発しん	7	0.30	0.34			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	21	0.91	0.73	◁	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	66	30歳代・推定感染地域: 国外、60歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	13	20歳代・O157、50歳代・O157
4	レジオネラ症	3	22	50歳代・1人、60歳代・2人
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	70歳代
5	梅毒	15	189	20歳代・5人、30歳代・3人、40歳代・1人、50歳代・4人、60歳代・1人、70歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	8	80歳代